



10月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2>



運動会をとおして接続を考える

園長 立石 晃子

朝夕の園庭にコオロギの鳴き声が聞こえる季節になりました。体を動かすことが心地よい季節となり、園庭では、年長児が運動会に向けてリレーの練習をしています。2チームに分かれ、毎日接戦を繰り広げ、「どうしたら速く走れるだろう」「毎日練習しよう」と頑張る姿、「自分はこれくらいの順番がいいかな」とチーム全体を見たときの自分の位置を考えながら取り組む姿、友達を応援し友達がいい走りをすると自分のことのように喜ぶ姿など、日に日に一人ひとりが自分の力の向上と友達と力を合わせてできることの楽しさを感じている様子が見られます。また、年長児のリレーの様子を見て興味をもった年中児は、好きな遊びの時間に「入れて」と入っていきます。年長児は優しく、「線の中に入っ(て走っ)ちゃダメなんだよ」「ここで(バトン)を)待っているんだよ」とリレーのルールを教えながら一緒にリレーを楽しんでいます。その様子を見た年少組も真似をしたくなったようで、一人ひとりが担任に新聞紙でつくってもらったバトンをもって嬉しそうに走っています。

こうした姿は一朝一夕で現れるものではありません。幼児期以前の「楽しかった」「心地よかった」「嬉しかった」という感情が基盤となります。そして幼児は楽しそうなものを見たり聞いたりすると「楽しそう!」「やってみたい!」と思わず体を動かします。体が動くことで「楽しい!」「できた!」「もっとやりたい!」「うまくいかなかった」「どうしたらいいんだろう」という様々な感情体験が次への体を動かす意欲、活動への意欲へとつながっていきます。こうした感情体験は、次第に自分一人だけでなく、友達との関わりの中にも広がりを見せます。うまくいかなかったときに教師や友達に励まされ支えられる体験も次への意欲につながります。こうした発達を見通しながら、運動会という活動をとおして子供たちに体験してほしいことを織り交ぜ、教育活動を展開しています。幼児期に体験した体を動かす楽しさ、友達と一緒に取り組む楽しさ、役割を担い見通しをもって行動するという体験は、小学校以降の場でも発揮されることとなります。運動会が位置付けられている小学校学習指導要領特別活動編において、幼児期の教育との接続及び関連では、「幼児期の教育において『自立心』や『協同性』、『道徳性・規範意識の芽生え』『社会生活とのかかわり』などの『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』が育まれてきていることを十分に理解した上で、入学してきた児童への関わり方を考えていく必要がある。」と記され、幼児期に育まれた姿は小学校教育で生かされていきます。

10月12日(土)はいよいよ本園の運動会です。子供たちが生き生きと運動会へ取り組む様子とともに、運動会の取り組みで体験したことが小学校教育、それ以降へとつながっていくことを感じていただきながら、参観していただくと嬉しいです。当日はご協力のほど、よろしくお願いたします。

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

< 3 歳もも組 >

先生や友達と一緒に遊ぶと楽しいね

長い夏休みが終わり元気いっぱい笑顔いっぱいの二学期がスタートしました。一学期に楽しんだ遊びを思い出しながら遊ぶ姿がありました。そんなある日、部屋にどんぐりが1つ落ちていました。「このどんぐりどこから来たのだろう。」と子供たちと考えていました。年長組にどんぐりがたくさんあることを知ると、勇気を出して「どんぐり少しください。」と言い少し分けてもらいました。それから部屋に空き箱を使ってどんぐりコロコロゲームを作って楽しんでいます。

園庭では、おかけっこをして走り回ったり、登り棒に挑戦したりと、体をたくさん動かして遊ぶ姿が多くなってきています。「よーいどん！」でみんなで走ってみたり、音楽に合わせて楽しく踊ってみたりと、体を動かして遊ぶことの楽しさや、心地よさを十分に感じられるようにしていきます。初めての運動会に向けて期待を膨らませて、教師や友達と楽しく参加できるように取り組んでいきます。

< 4 歳たんぼ組 >

みんなで頑張ると気持ちがいいね！一緒に遊ぶと楽しいね！

「あのね、おじいちゃんの家に行ったんだよ。」「僕も！」「私も！」と、楽しかった夏休みの話を楽しそうに話してくれたたんぼ組の子供たち。友達の話に耳を傾けたり、「おんなじだね。」と共感したりと、自分の思いを受け止めてもらえる嬉しさをたくさん味わいました。ある日、1学期に植えたとうもろこしを収穫することになりました。なかなか抜けないとうもろこし。「誰か手伝って！」「そうだ、根っこを掘るシャベルを持ってくるよ」と友達同士で声を掛け合い、そしてみんなで力を合わせ「よいしょ、よいしょ、抜けたー！」と、大喜び。みんなで協力してやり遂げたとうもろこしの収穫でした。

みんなでかけっこや鬼ごっこをして体をのびのび動かしたり、みんなの気持ちを一つにしてリズムを踊ったりと、「友達と一緒に体を動かすと楽しいね。」と感じ始めています。運動会では頑張ろう、やってみたいと思えるような援助を心掛け、学級全体で楽しんでいきます！

< 5 歳ばら組 >

体を動かすって気持ちがいいね！みんなで力を合わせて頑張ろう！

夏休み明け、久しぶりの友達との再会を喜び、夏休み中の楽しかった経験を互いに話したり、誘い合って好きな遊びを楽しんだりして、笑顔いっぱいで2学期をスタートしました。収穫したなすやパプリカはぬか漬けや炒め物にし、スイカは小さく切り分けて、みんなでおいしく味わいました。登降園時に見付けたどんぐりや落ち葉を捨ってくる子も増え、夏から秋へ少しずつ季節の移り変わりを感じます。

子供たちは繰り返しリレーや鉄棒などの運動に挑戦したり、リズムを踊ったりして毎日体を動かして遊んでいます。子供たちは運動会に向けてやりたい競技を決めたり、ポスター作りや係の相談など、幼稚園のリーダーとして自分たちができることや必要なことを考えたりして、意欲的に取り組んでいます。これからさらに一人一人が自分の力を発揮し、互いの頑張りを認め合い、仲間と力を合わせて運動会をやり遂げる充実感を味わえるよう援助していきます。